

運輸省令第 脚

昭和二十一年一月七日
閣議了解

昭和二十年 十一月 運輸省令第四十號 昭和二十年勅令第五百四十二號 求ツダ
ム宣言受諾ニ伴ヒ發スル命令ニ關スル件ニ基テ航海ノ制限等ニ關スル件ノ
一部を次のように改正する。

昭和二十二年 日 日

運輸大臣 平 塚 常 次 郎

第四條 運輸大臣ハ船舶ノ救助、引揚若ハ船舶ノ解重ヲ爲ス事業ヲ營ム者
（以下船舶救難業者ト謂フ）、船舶所有者又ハ運航業者ニ對シ船舶ノ救
助若ハ引揚ニ關シ又ハ船舶ノ運航ノ手續ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコト
ヲ得

第四條ノ二 政府ハ船舶救難業者、船舶所有者又ハ運航業者ニ對シ前條ノ
救助又ハ引揚ノ命令ニ因リ通常生ズベキ損失ヲ補償ス
前項ノ補償ヲ伴フベキ命令ハ之ニ因リ要スベキ補償金ノ額額ガ帝國議會
ノ協賛ヲ經タル命令ヲ指シザル範圍内ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス
損失補償ヲ請求セントスル者ハ損失ノ原因タル事實發生ノ日ヨリ六ヶ月

以內ニ損失補償請求書ヲ運輸大臣ニ提出スベシ

附 則

本令は公布の日より之を施行す

理 由

別紙の通りS G A J A Pより指令ありたるにより改正を要するによる。
大蔵省へ協議済

連署 一五九六號

一九四六年一月三〇日

差出人 SCATAP

宛先 連 省

經由 中央事務局

題目 日本救助曳船差立ノ件

(一) 日本船ノ突發的救助作業及救援ニ處スル爲メ船用意ヲ具備シ豫備品等ヲ搭載シタル大洋運ヒノ曳船一隻ヲ東京灣水域ニ集台ヤシムルコトニ手配相成度

(二) 更ニマタ歸還輸送船ノ海難ニ備ヘ直チニ之ニ差向ケル爲右二隻中一隻ニハ必キナル食糧ヲ搭載セシメラレ度

F. B. MUMFORD

建議 一〇三四

一九四六年一月二十四日

差出人 SOAGJAP

宛先 運 船 大 臣

送附 中 央 事 務 局

趣 旨 日本救助史船ノ差立テノ件

(一) 日本船ノ災難的救難作業又ハ救護ニ處スル爲メ史船用意ヲ具備シ
難備品等ヲ搭載シタル大洋運ヒノ史船四隻ヲ長崎三菱船渠ト四日
修繕根據地ヘ集合セシムルニトテ御手配相成候

(二) 要ニマダ海上ニテ救難船送給ガ沈没セル場合直チニ之ニ差向ケル
爲右充史船ノウチ一隻ニハ必要ナル食糧ヲ搭載セシムルト共ニ如
何ナル出来事ニ對シテモ充分ナル食糧供給ヲ可能ナラシムル爲メ
長崎港陸上ニ十分ナル食糧ヲ準備相成候

U. B. JOHNSON

連番

S C A P I N I 一二五四

發信人

昭和二十一年十月五日

受信人

聯合軍最高司令官本部

主 題

東京終局連番事務局 (C L O)

主 題

蘇聯船ノサルベイジ、修理及再整備ニ關スル件

(一)

日本人或ハ其ノ代行人ニヨル獲得、拿捕或ハ沈没船中、聯合國登

録及聯合國所有デアル船中ガ證明サレルモノニシテ日本近海ニテ發見

サレタ有ユル船類及大サノ船類ノ修理、再整備スル事ヲ日本帝國政

府ヘ命ズル

(二)

所要サルベイジ、修理及再整備ノ費用ハ日本政府ガ負擔シナケレ

バナラナイ

(三)

聯合國最高司令官本部ハ日本帝國政府ニ對シ各船隻ニ別個ニ命

令ヲ發シ日本人ガ入手シタ當時ト實質的ニ同一ノ狀態トシテ修繕ヲ

要スル必要ナ分所機全ヘ修理ノ爲メ、修理、サルベイジ及再

整備ヲ指令スル

(四)

各船ニ對シ命ジタ分解機全ヘ修理ノ爲メ、修理、サルベイジ及

再整備ノ完了後三十日以内ニ日本帝國政府ハ聯合國最高司令官本部

ニ支出額總額ノ報告ヲ提出セラレタイ

最高司令官代

高級副官 A G D 陸軍大佐

J O H N H. C O O L E Y 代

A. J. R R H E